

令和2年度 学校関係者評価委員会（報告）

鹿児島県立与論高等学校

1 日 時 令和2年7月16日（木） 14:30～16:10

2 場 所 本校図書館

3 出席者

- (1) 町公立中学校，町教育委員会事務局，町商工会，町保健センター，PTA 会長（計5人）
- (2) 校長，教頭，事務長，4部主任（教務・生徒指導・進路指導・保健），学年主任（3人）（計10人）

4 当日の日程及び内容

- (1) 委嘱状交付 (2) 授業参観 (3) 評価委員会（①開会挨拶 ②校長挨拶 ③協議 ④閉会挨拶）

5 意見交換録

（○：評価委員からの質問・提言 →：学校職員による回答・説明）

(1) 生徒募集について

- 現在の中3が36人。島外の高校への進学者を減らすためにどういうPRをしていくのか。
→ 島内・県内だけでなく県外の諸機関にふるさと留学生のチラシや学校案内を配付して、本校の進学状況や少人数によるきめ細やかな授業等，本校ならではの良さをアピールしていきたい。（校長）

(2) 新型コロナウイルスによる影響について

- コロナ禍が与える進学や就職への影響にどのように対応していくのか。
→ 募集時期は例年より1ヶ月ほど遅れるが，現在，求人票を元にマッチングをしている状況。本校生の共通テスト受験時期等，進学に関しては，日程等，基本的に大きな変更はない。休校による授業の遅れに関しても，長期休業中の課外等を授業に振り替えるといった対応なしになんとか補充できる見通しである。（進路主任）

(3) 家庭学習について

- 家庭学習の習慣化の状況と，どの程度の明確な職業イメージに基づいて進学先が決定されているのか。
→ 1年で平日90分，2年生で120分程度か。1年生の場合，年度当初のコロナウイルス拡大による休校の影響で，中学校から高校の学習への切り替えに苦労したが，机に向かうことは習慣化できつつあると思われる。
進路志望状況については，生徒にもよるが，学部・学科系統は絞り込まれてはいるものの，医療系志望者を除けば，残念ながら，具体的な職業までイメージできているという状況ではない。（進路主任・3学年主任）

(4) その他

- 本日の授業参観での様子を見る限り，生徒間の距離やマスクの着用率の低さに若干の不安を感じる。自己防衛の重要性を自覚させることも大切。
- 登校時によく挨拶してくれる。気持ちがいい。
- 少人数によるきめ細やかな授業は本校の魅力。中学生にもアピールしていきたい。
- 重点目標にもあるが，まさに「予測困難な時代」。保護者としては先生方をお願いするしかない。島だちしていく子供たちへの指導を今後もぜひお願いしたい。